財務ハイライト

平成18事業年度決算

■貸借対照表の概要

（単位：億円）

資産の部

土地	1,660
建物等	1,289
備品	189
図書	313
有価証券	53
現金及び預金	377
未収入金	55
たな卸資産	5
その他	34
資産合計	3,975

リサーチ・リソース・ステーション棟(霊長研)建設
総合研究棟(工学系)等改修
農学部総合館改修(PFI事業)等

約622万冊所蔵
約8万冊増
約5億円増

未払金相当約180億円
寄附金約141億円等

負債の部

資産見返負債	498
借入金	319
長期未払金	124
寄附金債務	142
未払金	180
その他	65
負債合計	1,328

センター債務負担金
約314億円
長期借入金　約5億円

PFI事業の未払金
総合研究棟Ⅴ(桂)
福利・保健管理棟(桂)
総合研究棟(南部)
農学部総合館改修

資本の部

資本金	2,445
資本剰余金	46
利益剰余金	105
当期未処分利益	51
資本合計	2,647
負債・資本合計	3,975

国から出資された土地
建物、備品等見合い額

16・17年度利益剰余金

18年度の利益剰余金
＝当期総利益

平成18事業年度末の貸借対照表の概要は上記のとおりですが、特筆すべき点は以下のとおりです。

■土地　1,660億円(1億円増)

新たに寄附金によりボート部の合宿所(石山艇庫)の土地を取得しています。

■建物等　1,289億円(41億円減)

建物等約1,289億円は、建物等の取得価格約1,642億円から減価償却累計額約353億円を控除した額です。

平成18事業年度は、施設整備事業として行った、霊長類研究所リサーチ・リソース・ステーション棟の建設、総合研究棟(工学系)等の改修、農学部総合館の改修(PFI事業)などにより約68億円の増となっている一方で、減価償却累計額が約109億円の増となっています。

■備品　189億円(6億円増)

備品約189億円は、備品の取得価格約444億円から減価償却累計額約255億円を控除した額です。

平成18事業年度は備品を約97億円取得している一方で、減価償却累計額が約91億円の増となっています。

■図書　313億円(5億円増)

本学にとって重要な財産のひとつです。平成18事業年度は約8万冊の増冊を図り、年度末の蔵書は約622万冊となっています。

■現金及び預金　377億円(78億円増)

寄附金残高が約141億円、未払金相当額が約180億円、その他物件費、人件費の繰越分等です。

■借入金　319億円(37億円減)

借入金には、国立大学財務・経営センター債務負担金(約314億円)と長期借入金(約5億円)があります。

国立大学財務・経営センター債務負担金は、法人化以前に財政投融資資金を財源として取得した附属病院の資産等にかかる借入金で、償還期限は平成37事業年度です。

長期借入金は、法人化後、附属病院の設備充実のため国立大学財務・経営センターから借り入れたものです。

■長期未払金　124億円(16億円増)

PFI事業である総合研究棟Ⅴ(桂)、福利・保健管理棟(桂)、及び総合研究棟(南部)の整備並びに農学部総合館(北部)の改修にかかる未払金です。